



加藤 克之 議員
誠進会

問 十四山・大藤避難場所確保は

答 収容できるようになっている



▲避難場所に指定されている十四山支所（神戸）

問 十四山地区の椋場・神戸・鳥ヶ地地域の避難場所確保の状況は。

答 危機管理課長 十四山中学校、長寿の里十四山海翔高校、十四山支所、孫宝排水機場となる。

問 大藤地区の稲元・寛延・間崎地域の避難場所確保の状況は。

答 危機管理課長 愛知黎明高校と一時避難場所の協定を結ぶ。大藤小学校に避難用屋上防護柵設置等、施設整備を行う。

問 近隣自治体と広域的協力をしている。

答 危機管理課長 昨年7月に、西尾張9市で災害時における支援協定を締結している。今後は、蟹江町、大治町、飛島村を始めとする町村とも協定を視野に、広域避難場所についても検討する。

問 ファミリー・フレンドリー企業活用を

答 HPに掲載し労働者を支援する

! 仕事と育児・介護を両立させることができる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを行う企業

問 ファミリー・フレンドリー企業 **!** の県表彰を糧に、職場環境と、「あいちっこ家庭教育応援企業」への支援を考へては。

答 開発部長 男女労働者が仕事と家庭とを両立させ、十分に能力を発揮して働けるような、人事労務管理を行うことが必要となる。県では19年度にこの制度を創設した。

企業・事業所などで働く保護者が、安心して仕事ができるよう、愛知県教育委員会と企業、事業所などが連携し、家庭教育の推進を図る制度として、募集を行っている。

※賛同企業（29年2月13日現在、海部地区48社、内弥富市19社）。